４月２４日　　**テーマ：「過越しの祭り」**

聖書個所：出エジプト記１２章１～５１節

◆今日のみことば

“あなたがたのいる家々の血は、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたの所を通り越そう。わたしがエジプトの地を打つとき、あなたがたには滅びのわざわいは起こらない。”　　出エジプト記１２章１３節

◆メッセージ

みなさんは怪我をした時に、血が出たことがありますか。真っ赤な血が出ると、もうビックリしてしまいますね。モーセさんがイスラエルの人々をエジプトの国から助け出したとき、神さまその大切な血を使うように、と教えられたのです。

エジプトの王様は奴隷であったイスラエルの人々に、簡単には出て行っていいとは言いませんでした。そこで神さまは最後の最後に、小羊の血を使うことにしたのです。

「小羊の血を家の柱とかもいに塗りなさい。そして神さまが命じられたように食事をしなさい。神さまはその夜、エジプトの家々を見て、血の塗ってある家は守り、血の塗っていない家はさばかれます。王様の家も、家来の家も、奴隷の家も血が塗っていないなら、最初に生れた人が、人でも動物でも死にます！」

夜になり、イスラエルの人々は血を塗り、じっと待っていました。エジプトの人々はそんな話を信じませんでしたが、やがてあちこちの家から泣き声が聞こえてきました。神さまの語られたとおり、かわいい赤ちゃんや一番上のお兄さんが死んでしまったからです。その悲しみが大きかったので、エジプトの王様はついにモーセさんに言いました。「あなたがたは国を出て行ってもよい。もうこれ以上私たちを苦しめないでくれ。」それでイスラエルの人々は全員、エジプトから助け出されたのです。

その夜の、神さまの救いを忘れないように定められたのが、過越の祭りです。その血は犠牲の血、身代わりの血だったのです。いまの私たちには、イエスさまが私たちの罪の代わりに十字架に掛かってくださり、血を流してくださったのでその罪がゆるされているのです。

◆お祈り

「神さま。むかしイスラエルの人たちを小羊の血によってお救いくださったように、いまはイエスさまの十字架によって、罪ゆるされていることを感謝します。神さまがお語りになることを素直に信じて従うことができますように導いてください。　アーメン。」

（相馬キリスト福音教会牧師　東頭　戌）